

最近の機械貿易動向(9月)～機械輸出の回復速度やや回復～

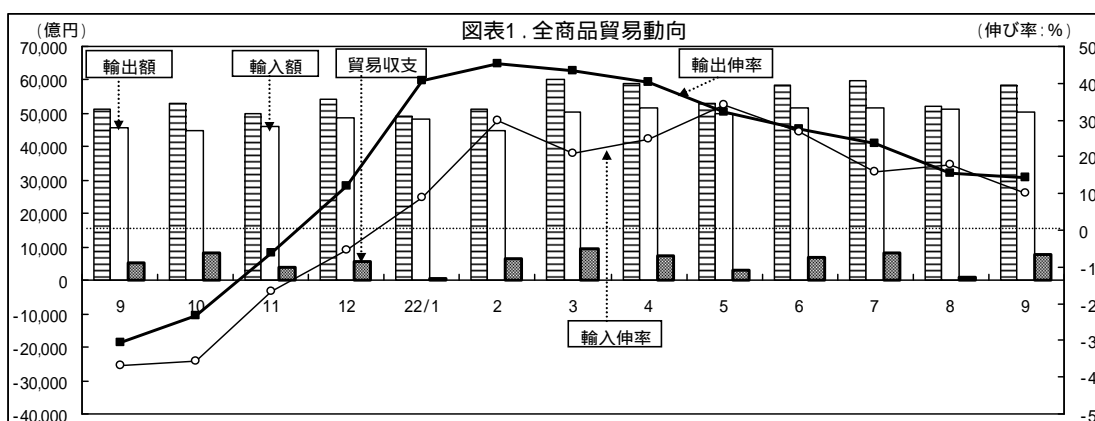
2010.11.11.

平成22年9月の機械輸出額は、3兆8,994億円、対前年同月比18.6%増と6カ月ぶりに前月の伸びをやや上回った。この輸出額は、リーマンショック以前の平成20年9月の79%の水準で回復速度はやや回復した。この要因は、その他地域、NIES/ASEAN、北米向けがやや回復したこと、営業日が昨年比1日多かったことが上げられる。

10月の機械輸出は、実質伸び率を9月の19.7%増とすると、円高と営業日が1日少ないことから約10%の減少要因となり、前年比9.7%増程度なるものと予想される。10月上中旬の全商品輸出額は12.3%増となっている。

1. 全商品貿易動向～輸出は14.4%増と7ヶ月連続で伸び率減少、輸入の伸びも縮小～

- ・平成22年9月の全商品輸出額は5兆8,409億円、前年同月比(以下同じ)14.4%増と増加したものの7ヶ月連続で伸び率を低下させた(8月15.5%増)。商品別では、全輸出額の20%を占める一般機械(39%増)、24%の輸送用機器(16.4%増)が高い伸びを示したが、9%の化学製品(3.2%増)、19%の電気機器(6.6%増)は一桁の低い伸びにとどまっている。
- ・輸入額は5兆498億円、10.1%増と前月より伸び率は低下した。これは、全輸入額の27%を占める鉱物性燃料(4.4%増)、3%の輸送用機器(5.1%減)が低い伸び、又は、マイナスになったことによる。一方、8%の鉄鉱石等原料品(33.4%増)、14%の電気機器(17.2%増)は高い伸びとなった。
- ・この結果、9月の貿易収支は、輸出が輸入の伸び率を上回ったため、50.6%増、7,911億円の黒字となった。

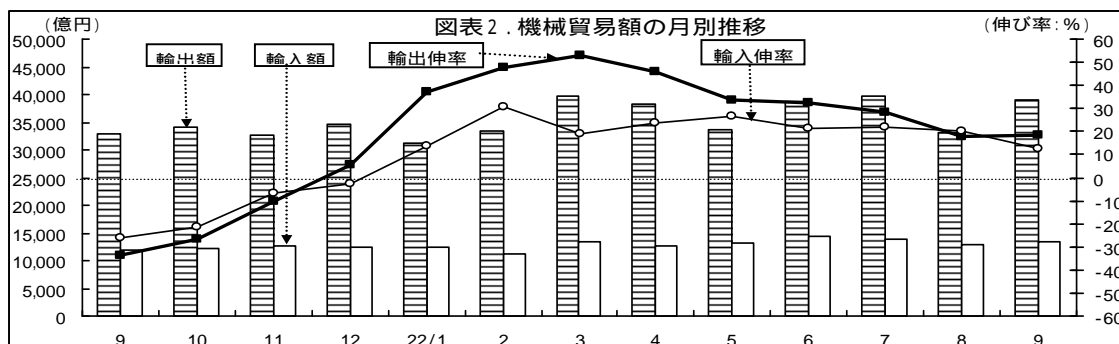


2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出18.6%増と6ヶ月ぶりに前月をやや上回る～

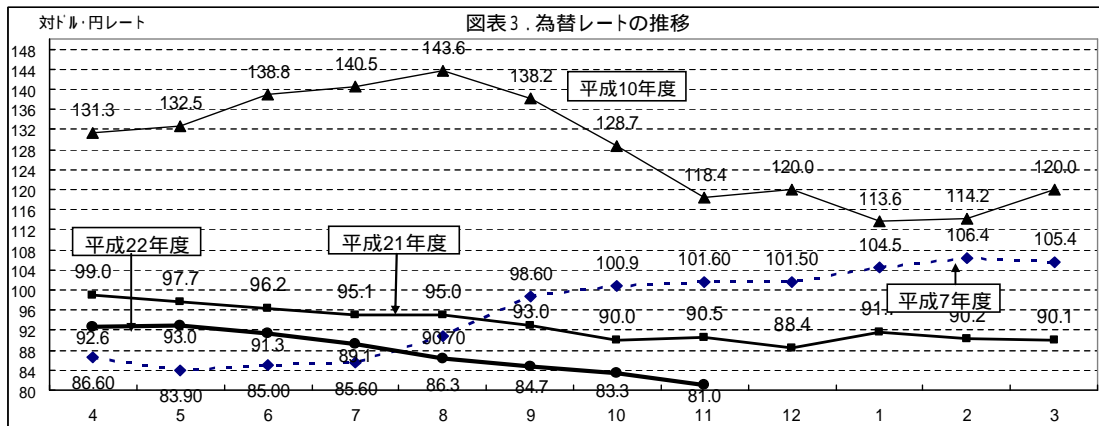
・全商品輸出額の65%を占める9月の機械輸出額は3兆8,944億円、18.6%増と6ヶ月ぶりに前月の伸びをやや上回った(8月17.7%増)。この輸出額は、リーマンショック以前の平成20年9月の輸出額に比べ79%(8月73%)の水準でやや回復傾向を示した。

一方、全商品輸入額の26%を占める機械輸入額は、1兆3,491億円、12.7%増と伸び率を低下させた(8月20.4%増)。輸入額は、2年前に比べ87%と回復速度をやや高めている(8月84%)。



(2) 為替動向・営業日～為替は9月は6.4%、10月は5.1%、11月は1.4%の円建減少要因～

- ・9月は1ドル = 84.7円と円高がさらに進み、前年比8.9%の円高となった。対ユーロでも極端な円高状態が続き19.1%の大幅な円高となった。この結果、円建輸出額では6.4%の減少要因となる。営業日は前年より1日多く5.3%の増加要因となる。あわせると1.1%の減少要因となる。この結果、9月の機械輸出伸び率は18.6%増であったが、実質伸び率は19.7%増となり8月とほぼ横ばいとなった(8月19.2%増)。
- ・10月は1ドル = 83.3円と円高がさらに進み、月間では15年前の平成7年5月の月間最高値をやや上回り、前年比7.4%の円高となった。対ユーロ = 113.7円でも円高状態が続き14.2%の大幅な円高となった。この結果、円建輸出額では5.1%の減少要因となる。営業日は前年より1日少なく4.8%の減少要因となる。あわせると約10%の大幅な減少要因となる。11月は、対ドルが現状の81円とすれば月間の最高値を更新し、10.5%の円高となり、対ユーロが現状の114円とすれば14.9%の円高となり、あわせて円建輸出額の6.7%の減少要因となる。一方、営業日は前年より1日多いので、5.3%の増加要因となる。あわせると1.4%程度の減少要因となる。



(3) 地域別動向～その他地域、NIES/ASEAN、米国向けやや回復、中国、EU向け伸び率縮小～

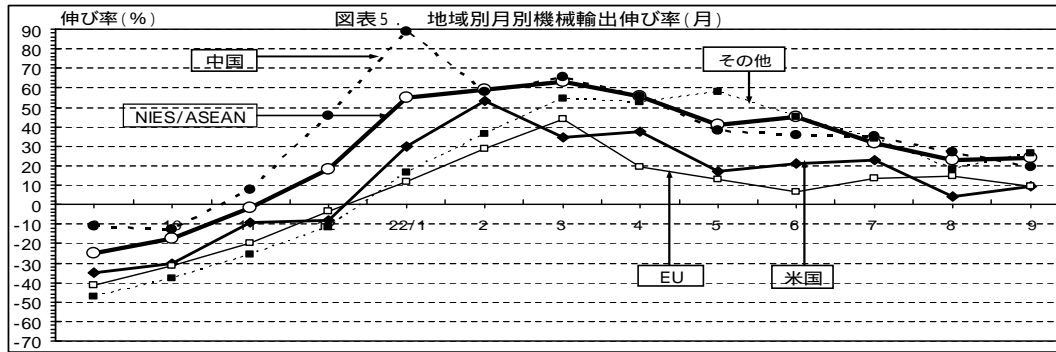
- ・9月は伸び率がやや回復したが、最も大きな伸びとなったのが機械輸出額の21%を占めるその他地域向けで、中南米(52%増)、ロシア・東欧(49.9%)、インド(41%増)向けが高い伸びとなり、機種では全体の21%を占める船舶(54.6%増)や建設機械(約2倍)が好調で26.2%増の伸び率となった。次に伸びたのが、29%と最大輸出地域のNIES/ASEAN向けで、輸出先では、インドネシア、台湾、タイ向けが、業種では産業機械、電子計測器、工作機械、建設機械が好調で、24.2%増と前月をやや上回った。次が中国向けで、産業機械、工作機械、建設機械、陸用内燃機関が大幅に伸びたが、自動車部品、民生用電子部品、電池等が横ばい、又は、マイナスとなり、19.5%増と前月を大幅に下回った。12%の欧州向けは、産業機械、重電気機械、光学機械、建設機械、船舶が伸びたが乗用車、デジカメ、電子計算機などが前年比マイナスとなり9.4%増と前月の伸びを下回った。20%の北米向けは、重電気機械、電子デバイスがマイナスであったが、輸出額の半分を占める乗用車、電子計算機が横ばいに戻り、産業機械、建設機械、工作機械、陸用内燃機関が好調で9.2%増となった。輸出額では、中国向けが2年前の水準を超え、NIES/ASEAN向けが90%台となったが、EU、その他向けは未だ60%台の水準である。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2010/7			2010/8			2010/9			対08年9月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	39,818	28.4	120	33,079	17.7	100	38,944	18.6	100	0.79
北米	8,138	22.7	24.6	6,219	4.0	18.8	7,819	9.2	20.1	0.77
EU	4,592	13.6	13.9	4,219	14.4	12.8	4,710	9.4	12.1	0.64
NIES/ASEAN	11,577	31.6	35.0	10,192	23.1	30.8	11,363	24.2	29.2	0.93
中国	7,254	35.2	21.9	6,376	27.2	19.3	6,870	19.5	17.6	1.06
その他	8,257	33.9	25.0	6,072	17.9	18.4	8,181	26.2	21.0	0.62

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2010/6		2010/7		2010/8		2010/9	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,054	44.4	2,021	31.9	2,044	36.6	1,967	19.3
台湾	2,139	47.2	2,156	44.3	1,966	41.4	2,073	35.3
香港	2,056	35.7	2,120	25.4	1,590	1.1	1,883	13.6
タイ	1,632	64.9	1,747	53.4	1,485	28.1	1,653	30.7
シンガポール	995	25.7	883	14.3	938	5.5	1,150	1.3
インドネシア	853	80.7	884	80.6	644	49.5	904	101.1
マレーシア	881	49.7	859	30.8	739	20.6	863	27.0
フィリピン	544	25.9	557	29.6	496	21.0	531	10.9
ベトナム	311	28.8	316	4.4	262	6.9	310	15.1
その他地域								
中南米	2,992	35.7	3,092	28.0	1,978	1.5	2,937	52.0
中近東	1,674	61.5	1,449	9.3	1,222	24.6	1,658	6.7
大洋州	1,261	60.7	1,187	35.7	886	16.5	1,362	26.6
ロシア東欧等	1,076	70.6	1,214	101.7	1,029	51.8	1,133	49.9
アフリカ	674	15.8	834	36.9	560	15.7	623	25.3
インド	439	61.0	435	38.7	336	25.6	416	41.0

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～全19業種中17業種が10%以上の伸び、自動車は7ヶ月連続で鈍化～

・業種別では、全19業種中17業種が前年比プラス、うち14業種が10%以上の伸びとなった。全体の約1/3を占める自動車が12.5%増と7ヶ月連続で伸び率を鈍化させ、機械輸出伸び率鈍化の原因となった。高い伸びとなったのが、工作機械、繊維機械で2倍以上、建設機械、陸用内燃機は70%以上の増加となった。

一方、通信機器(24.5%減)が6ヶ月連続で、電子計算機は3ヶ月連続でマイナスとなった。

・なお、平成20年9月の輸出額と比較すると、2年前の水準を超えたのは医療機械、船舶、繊維機械の3業種で、電子計算機、通信機械、産業車両はまだ50%台の水準である。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2010/7				2010/8				2010/9				対08/9比
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	12,177	25.1	30.6	自動車	9,671	16.6	29.2	自動車	12,204	12.5	31.3	0.72
産業機械	7,106	49.7	17.8	産業機械	6,242	39.2	18.9	産業機械	6,624	36.3	17.0	0.88
電子デバイス	3,730	16.5	9.4	電子デバイス	3,511	11.6	10.6	電子デバイス	3,593	4.2	9.2	0.81
民生用電子機械	2,091	7.0	5.1	民生用電子機械	1,879	2.3	5.7	民生用電子機械	2,238	2.6	5.7	0.62
軽電気機械	2,274	30.6	5.7	軽電気機械	1,879	14.7	5.7	軽電気機械	2,120	12.3	5.4	0.86
船舶	2,419	9.4	6.1	船舶	1,187	21.0	3.6	船舶	2,539	39.9	6.5	1.26
重電気機械	2,043	25.9	5.1	重電気機械	1,646	9.9	5.0	重電気機械	1,833	13.5	4.7	0.83
光学機械	1,339	30.5	3.4	光学機械	1,227	15.6	3.7	光学機械	1,217	12.8	3.1	0.94
軽機械	1,294	30.9	3.2	軽機械	1,119	11.9	3.4	軽機械	1,275	23.2	3.3	0.71
建設機械	1,125	136.7	2.8	建設機械	951	105.5	2.9	建設機械	1,077	91.3	2.8	0.68
電子計算機	577	4.7	1.4	電子計算機	503	11.5	1.5	電子計算機	589	6.2	1.5	0.58
通信機械	547	20.5	1.4	通信機械	547	18.0	1.7	通信機械	560	24.5	1.4	0.53
工作機械	592	164.6	1.5	工作機械	607	148.6	1.8	工作機械	652	140.6	1.7	0.75
ベアリング	384	59.2	1.0	ベアリング	309	42.5	0.9	ベアリング	353	39.1	0.9	0.95
陸用内燃機関	383	105.3	1.0	陸用内燃機関	304	61.5	0.9	陸用内燃機関	366	70.7	0.9	0.87
医療機械	340	8.7	0.9	医療機械	298	3.9	0.9	医療機械	373	15.0	1.0	1.36
繊維機械	189	92.4	0.5	繊維機械	199	109.6	0.6	繊維機械	187	107.7	0.5	1.13
農業機械	163	41.2	0.4	農業機械	117	14.3	0.4	農業機械	129	3.6	0.3	0.62
産業車両	132	66.5	0.3	産業車両	111	69.9	0.3	産業車両	130	43.8	0.3	0.51
19業種合計	38,905		97.7	19業種合計	32,307		97.7	19業種合計	38,059		97.7	0.79

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD、プリンター等部品。
軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～産業用ロボット、半導体等製造装置、工作機械、繊維機械等が2倍以上増～

・伸び率上位機種は、ASEAN、EU、韓国・台湾等全世界向け産業用ロボット(2.8倍)、EU、中国、韓国・台湾等全世界向け半導体等製造装置(2.5倍)、中国、ASEAN、北米向け等工作機械(2.4倍)、中国、その他地域、韓国・台湾向け等繊維機械(2.1倍)、北米、中国、EU、その他地域向け等建設機械(91.3%増)、中国、EU向け等陸用内燃機関(70.7%増)、韓国・台湾、中国、その他地域向け等電気・電子計測機(54.6%増)、その他地域、ASEAN向け等産業車両(43.8%増)などである。

一方、最も落込み幅が大きいのが、携帯電話(84.2%減)、発電機(58.4%減)、ラジオ(32.7%減)、据置型VTR(23.2%減)、電子応用装置(12.1%減)、デジカメ(8.4%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円、前年比伸び率、10機種以内) (単位:億円)

2010/7			2010/8			2010/9		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
産業用ロボット	92	220.0	半導体等製造装置	1,599	214.9	産業用ロボット	91	181.2
半導体等製造装置	1,475	175.3	産業用ロボット	84	171.2	半導体等製造装置	1,584	153.7
工作機械	592	164.6	工作機械	607	148.6	工作機械	652	140.6
建設機械	1,125	136.7	繊維機械	199	109.6	繊維機械	187	107.7
電子応用機器	41	123.9	建設機械	951	105.5	建設機械	1,077	91.3
陸用内燃機関	383	105.3	産業車両	111	69.9	エアコン	13	76.7
繊維機械	189	92.4	陸用内燃機関	304	61.5	陸用内燃機関	366	70.7
電気・電子計測器	459	83.5	電気・電子計測器	367	58.2	電気・電子計測器	452	54.6
産業車両	132	66.5	ベアリング	309	42.5	産業車両	130	43.8
ベアリング	384	59.2	電子応用機器	38	37.3	船舶	2,539	39.9
機種合計	4,872	12.2%	機種合計	4,569	13.8%	機種合計	7,000	18.0%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2010/7			2010/8			2010/9		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
エアコン	9	82.2	携帯電話	3	79.9	携帯電話	3	84.2
携帯電話	3	78.5	発電機	85	56.2	発電機	85	58.4
ラジオ	10	30.0	原動力機械	368	22.3	ラジオ	13	32.7
発電機	129	28.8	据置型VTR	11	19.0	据置型VTR	10	23.2
据置型VTR	9	24.7	エアコン	9	16.5	電子応用装置	42	12.1
TV	93	14.9	ラジオ	11	13.0	デジカメ	764	8.4
機種合計	253	0.6%	機種合計	487	1.5%	機種合計	917	2.4%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 *機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～9月は12.7%増と伸び率が鈍化、TV、携帯電話は大幅な伸び続く

・9月の機械輸入額は12.7%増と伸び率は鈍化した。その要因は、航空機が大幅に減少したこと、二大輸入機種の一つ電子デバイスが伸び率を低下させたことなどによる。一方、TV、携帯電話は大幅な伸びが続いている。なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、TV、携帯電話、白物家電、医療機器、エアコン、ラジオ、時計となっている。

・地域別機械輸入額は、全体の40%と最大の輸入先の中国(28.9%増)、ASEAN(15%増)、韓国・台湾(8.8%増)、EU(1.6%増)、北米(8.2%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2010/7				2010/8				2010/9			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	1,881	12.9	13.6	電子デバイス	1,939	18.4	14.9	電子デバイス	1,923	13.6	14.3
電子計算機	1,606	19.2	11.6	電子計算機	1,460	16.9	11.2	電子計算機	1,697	21.7	12.6
自動車部品	662	34.2	4.8	重電気機械	620	14.9	4.8	自動車部品	638	15.5	4.7
重電気機械	633	14.5	4.6	自動車部品	612	32.6	4.7	重電気機械	625	9.3	4.6
白物家電	574	16.5	4.1	乗用車	545	22.1	4.2	乗用車	484	24.7	3.6
乗用車	546	103.9	3.9	TV	501	112.1	3.8	TV	480	102.3	3.6
TV	486	88.6	3.5	白物家電	436	24.7	3.3	白物家電	459	15.0	3.4
携帯電話	414	41.4	3.0	医療機器	405	4.0	3.1	携帯電話	421	60.6	3.1
航空機	405	71.2	2.9	携帯電話	397	66.2	3.0	医療機器	415	5.1	3.1
医療機器	389	5.3	2.8	民生電子部品	338	6.7	2.6	民生電子部品	390	18.4	2.9
民生電子部品	381	14.7	2.7	光学機械	318	4.6	2.4	光学機械	326	11.8	2.4
光学機械	322	17.8	2.3	航空機	244	24.4	1.9	航空機	287	41.7	2.1
12機種合計	8,299		59.9	12機種合計	7,815		60.0	12機種合計	8,145		60.4

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械